

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズケアA i r y (エアリー) こまき			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 17日		～	令和7年 4月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 17日		～	令和7年 4月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・医療体制の充実… ◇当事業所の代表理事が医師の為、緊急時の迅速な対応、医療的対応面や医療管理体制の強化が行われていること。 ・医療従事者の応援体制の充実… ◇施設常勤の看護師以外に必要に応じ、適宜配置できる看護師が多数在籍していること。 ・理学療法士、作業療法士によるリハビリの実施… ◇各専門職員の人員が充実しており、ニーズにあった施術を行えること。 ・適切な人員配置…◇1対1の支援体制を実施し、適切で手厚い支援を提供していること。	・職員は常に安全面に考慮した増員配置をし、お子様のケアに合わせ適切な支援を行う事を第一としています。移乗時などの事故防止や、療育中もお子様にとって負担のない活動参加が行えるように体制を整えて安心安全支援の提供を行っています。 ・層の厚い各専門職の配置ができる事により、リハビリなどお子様にとってより良き専門的支援を行うことができます。 ・適切な人員配置による余裕のあるお受け入れは、支援をペアやチームで協力して行う事ができ、職員も心身ともに余裕のある関わりができています。	・引き続き、医療連携体制を整えお子様や保護者にとって安心してご利用を継続できる事業所として安定した運営を行って参ります。 ・各専門職の充実と多職種連携の基、一人ひとりのお子様に合った適切な支援を行います。 ・各職員が自己研鑽に励み、キャリアアップとなる様に研修や勉強会などに積極的に参加し、知識と意識の向上に努めます。 ・今後もお子様や保護者のニーズにお応えし、適正な人員配置が行えるように職員の補充採用を行って参ります。
2	・生活空間の充実… ◇スムーズに移動が可能な十分な活動スペースの確保ができ、清潔な室内であること。 ◇ほふく室や遊戯室としても伸び伸びと快適活用できる全室バリアフリー構造となっていること。 ◇メインルームでの主活動や同室の専用エリアやサブルームによる個別活動など状況に応じた支援体制を行えること。	・利用人数が定員の上限時においても、レイアウト変更可能なマット類の活用でバギーでも広く移動でき、マットの上でもゆったりとくつろげる工夫をしています。 ・運動遊びでは、お子様たちがスペースを気にすることなく思い思いに体を動かし楽しむことができています。 ・お子様の状況に合わせた無理のない活動を行う為、体調や気持ちに合わせた個別対応エリアでの活動にもスムーズに変更できています。	・今後の療育活動に幅広く対応するために収納スペースの活用とバギー置き場の工夫などによりよく改善を行います。 ・施設二階の活用方法を再検討し、お子様の活動に提供できる更なるスペースの確保を行います。 ・スペースを活用して、今後の行事やイベント開催など施設主催の取組みの幅を広げ、お子様や保護者に楽しんでいたいただける機会を設けていきたいと考えています。
3	・活動内容の工夫… ◇音楽あそびや運動あそび、季節の制作や感覚あそびなど外出が難しいお子様にも楽しく参加できる活動や、お散歩や施設外活動、施設農園などの体験学習を多く取り入れています。 四季を楽しみながら様々なアプローチで感覚統合を促す療育を行っています。 ・摂食育の取組み… ◇摂食機能の向上の為の取組みをお子様に寄り添い、個別対応にて実施しています。	・音楽あそび(音楽療法)はリズムやメロディーに心地よさを感じて興味を示したり、歌や音、動きによるコミュニケーションの促しや工夫を凝らした絵本の読み聞かせによって、言語への親しみや発達を目的に行っています。 ・運動あそびは音楽体操や手遊びの動作を視覚や感覚で体験できるように行い、感覚を目覚めさせることをテーマに取り組んでいます。広々としたマットの上で学校生活の疲れを癒し、体調に合わせた過ごし方や好きな玩具やボール遊び、マッサージなど短い時間でもお子様が楽しくリフレッシュできる活動を取り入れています。 ・感覚過敏や口腔機能の未熟さなど、偏食等の食事に関する支援を行っています。個々の発達に合わせた丁寧な関わりで楽しく食事をとれるように支援にあたっています。	・お子様が安心して気持ちの表出ができる環境の整備とお子様自身が主体的、自発的に参加し療育が成長支援の道筋を作っていけるよう努めます。楽しい活動が喜びや発達のサポートする機会となるよう支援を行い、音楽あそびや運動あそびで伸び伸び自己表現ができることでお子様の不安やストレスの軽減になるよう健康的な支援を心がけます。 ・運動あそびにおける感覚統合を促す活動をより多く取り入れ、感覚の調整や自分の身体を把握し、情緒面、言語面、対人面の様々な困りごとを解決できるように生活習慣を身に付けていける支援を行います。 ・口腔機能の向上や食事の機能訓練プログラムに関する研修や関係者との連携、担当者会議への参加と事業所内周知により、お子様に合わせた適切な支援の実施を引き続き行って参ります。
4	・保護者への説明やご対応について… ◇お子様や保護者のニーズにお応えできるように情報共有や職員間の連携を適切に行い、迅速、丁寧に対応しています。お子様の状況に応じた支援の変更や各専門職員配置など、ご要望をお伺いし柔軟に検討しています。	・家庭的な支援や関わりを通して、その日のお子様のご様子や気づきについてのお伝えは、日頃の送迎時に丁寧に言い、随時保護者からの申し入れについてしっかりとご意向を伺い、保護者が悩みや不安を抱え込んでしまわないように寄り添って参ります。保護者と支援者を越え、心と心が通い合うコミュニケーションをとる事に職員一同努めています。	お子様の施設利用についてご心配をおかけすることが無い様に、保護者と支援者がお互いにみえていない部分(時間)の補完するためにも情報共有を適切に行い、ご指摘は真摯に受け止め改善に取組みます。保護者のご負担が少しでも軽減できる様にまたお子様が笑顔で過ごせるような施設を目指し、事業所運営を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	・父母の会などの活動も検討しておりますが個人情報保護の観点からも精査して今後の取組みについてお伝え致します。	・今後、行事等で親子参加の催しを企画し、保護者交流の機会を設ける様に検討していきます。 ・施設通信やInstagramにて活動の様子の発信を増やしていきます。

2	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	・避難や訓練の報告は日々の記録表にて行っていますが、保護者への内容の周知については説明不足でした。連携や周知が図られように改善していきます。	・各マニュアルを作成し、非常時に備え訓練を行っています。今後も定期的な訓練の実施と研修を行い、職員の意識の向上と災害用品の準備と補充を適切に行います。活動の報告の機会を増やし、今後も災害対応等について保護者に周知を行います。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	・日頃はなかなか交流の機会を多く持てませんが、医療的ケア児の体調面での配慮や感染防止対策など再検討を行い、交流が可能なお子様のご要望にもお応えしていきます。	・今後の併行利用や移行のための取組みとしても積極的な交流の機会を検討します。今後も地域の活動やイベントにも参加し、地域交流による子ども同士の関わりと社会参加の支援を増やしていきたいと思います。